

久保講堂 真岡市田町1345-1

久保講堂は昭和13年に、真岡小学校の講堂として建てられました。現在の金額で数億円になる建設費用は、全て久保家（久保六平氏 久保貞次郎氏の祖父）から寄付されました。

美術評論家でもあった久保貞次郎氏は、久保講堂が完成した記念として、「児童画公開審査会」

（今でいう美術展）を開きました。久保貞治郎氏は、今に続く芳賀教育美術展において、

「久保賞」を創設するなど、久保講堂を拠点とした芸術活動を行いました。

また、久保講堂ができた当時は、芳賀郡内に千人規模の人数が入ることができる建物がないため、真岡小学校児童の体育活動、芳賀地方の児童生徒の作品展覧会、戦没者慰霊祭、

市議会など、さまざまな活動の拠点として広く利用され、愛されました。

昭和61年に、真岡小学校から現在の場所に移設されました。平成9年5月、県内の建造物としては初となる「国の登録有形文化財」に登録されました。



(撮影 上野訓宏)